

# 「令和3年度に実施した仕事」の振り返りシート（B：裁量無及びその他）

記入日 令和4年4月15日

事業名称	財政事務費 [財政状況の公表事務]											
予算科目	款	2	総務費	項	1	総務管理費	目	4	財政管理費	事業番号	1	
事業の種別	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せなし)											
	<input type="checkbox"/> 課内庶務等 <input type="checkbox"/> 休止したもの <input type="checkbox"/> 廃止したもの											
担当部署・課長名	財政			課			財政担当		係	課長名	鈴木 俊也	
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。 【施策名】 効率的でスリムな行財政運営の実現	施策番号								行 - 2			
	総合計画書 (ページ)								122			
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。					① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)						
	市民					市民の数(令和4年3月31日現在の住民基本台帳人口)						
	→											
2 指標の推移	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]					② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)						
	市の財政状況を市民に知ってもらう					市民意識調査において、「市の行財政運営の取組に対する評価について」の設問に「よく取り組んでいると思う」と回答した市民の割合。						
	→											
3 経費	③ そのために何をしましたか。					③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)						
	毎年度、上半期(4~9月)及び下半期(10月~3月)の財政状況、財務書類、前年度決算、当初予算の概要、森林環境譲与税の使途、地方消費税交付金の使途について、市報及びホームページで公表している。					①財政状況の公表告示数 ②市報及びホームページによる(決算・予算含む)公表回数 ③財務書類、森林環境譲与税の使途、地方消費税交付金の使途のホームページ上での公表回数						
	→											
2 指標の推移			単位	過去2年間の実績		当該年度		成果目標				
				平成31年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度目標	令和5年度目標				
	対象指標	①の数値	人	85,266	85,294	85,086						
	成果指標	②の数値	%	5.5	5.3	4.1						
	目 標	②の目標値	%	8.7	8.7	8.7	-	-				
目標値設定の考え方(課内庶務、休止したもの、廃止したものを除く。) 総合計画における成果指標として、令和3年度までに8.7%を達成することを目標値としている。												
3 経費	事業費(実績)		円	2,042,150	1,637,350	1,376,650	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,250,000円 時間単価は、4,200円 で計算してください。 【算出根拠】令和2年度決算数値(退職手当組合負担金、共済費も含む。)					
	財源	一般財源	円	2,042,150	1,637,350	1,376,650						
		特定財源	円									
	(うち受益者負担)		円									
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	0.5	0.5	0.5						
所要人数(再任用)		人										
職員人件費(再任用以外)		円	4,155,000	4,190,000	4,125,000							
事業費+人件費		円	6,197,150	5,827,350	5,501,650							
4 課題	今後の課題(仕事の最適化・合理化の提案) ※廃止したものを除く 市の財政状況について、わかりやすい説明や事業別の行政コストの明示を求められている。											
	5 今後の方向性	仕事の方向性(「4課題」の課題解決に向けた具体的な改革・改善案など) ※廃止したものを除く 市報や統一的な基準による財務書類の公表資料については、イラストや例示(家計に例えた場合)などを記載することにより、わかりやすい財政状況の公表に努める。また、一部事業の事業別の行政コスト計算書の作成を進める。										